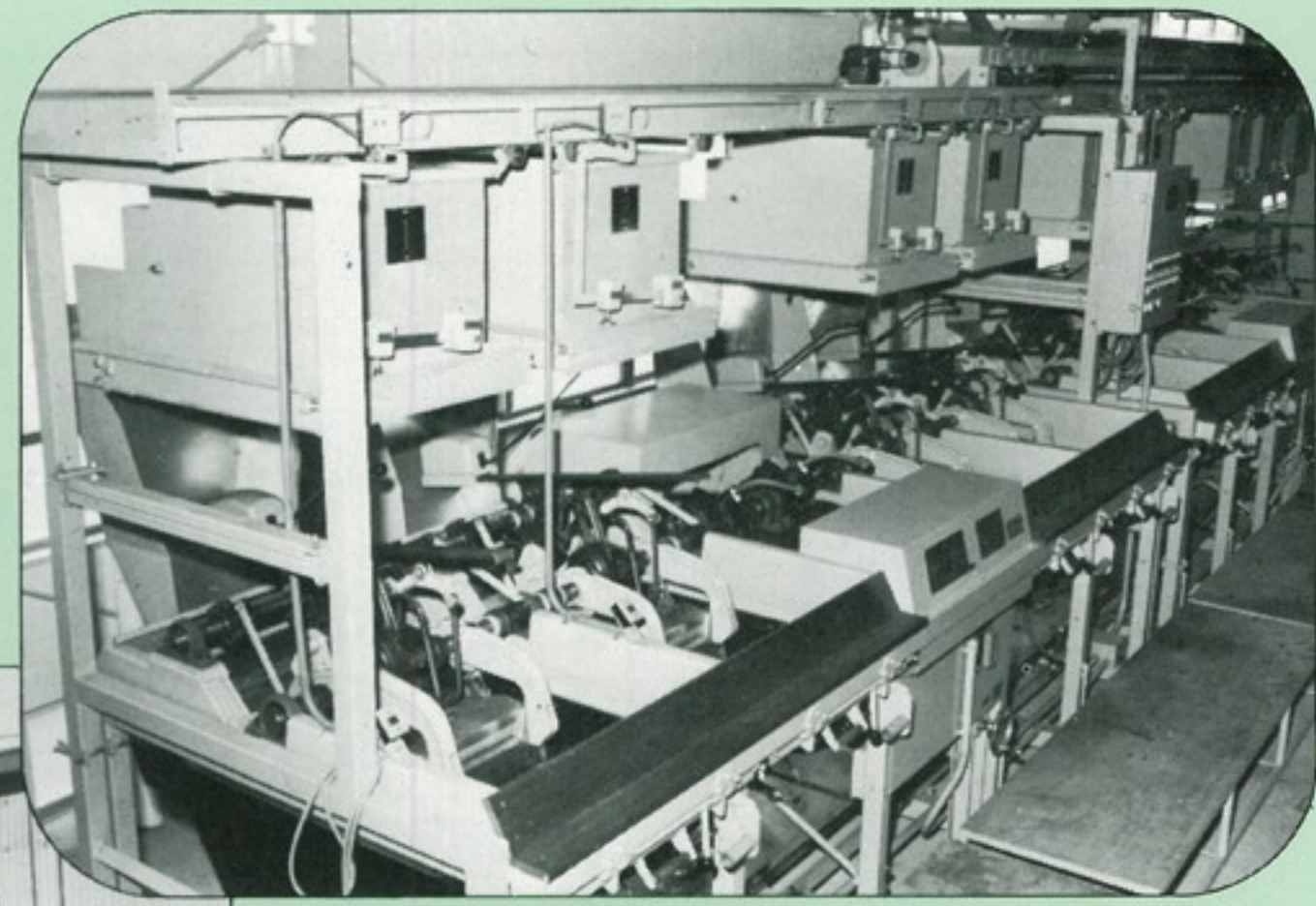
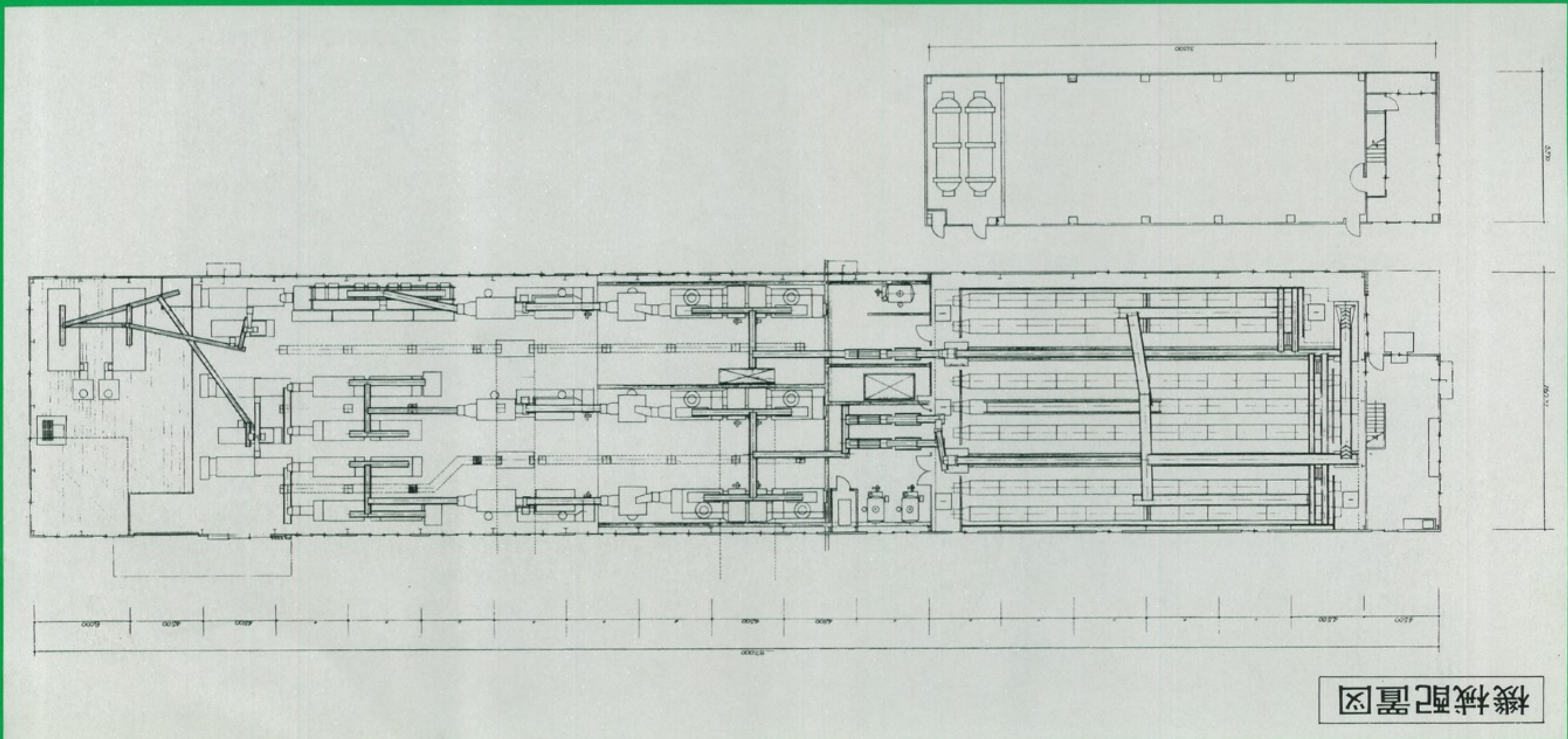
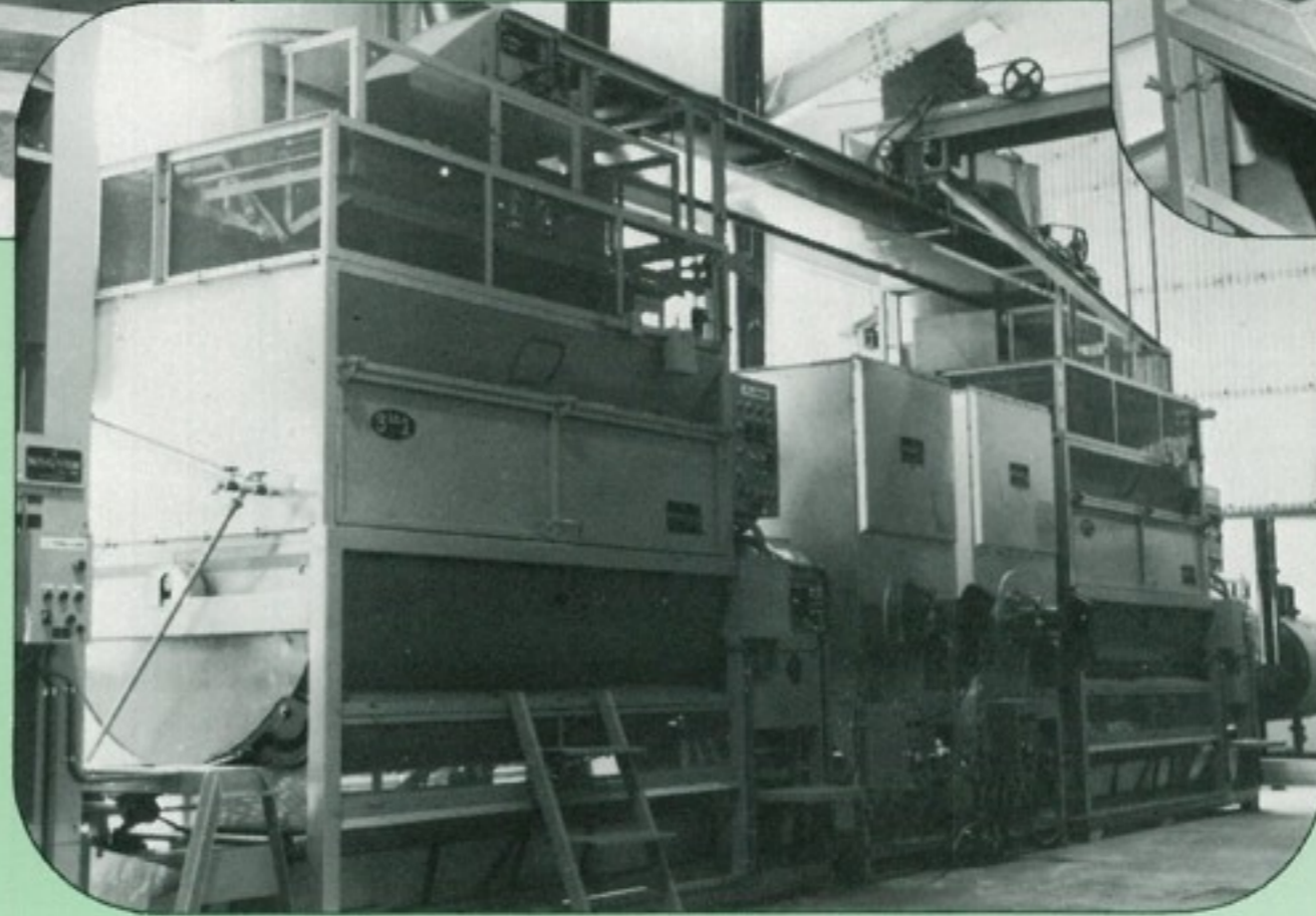


生葉集葉ロボット

大型 120 K スリーインワン粗揉機



精揉機(自動分配投入装置付)



機械配置図

# 落成の葉

昭和52年 3月29日



蔵田茶農業協同組合

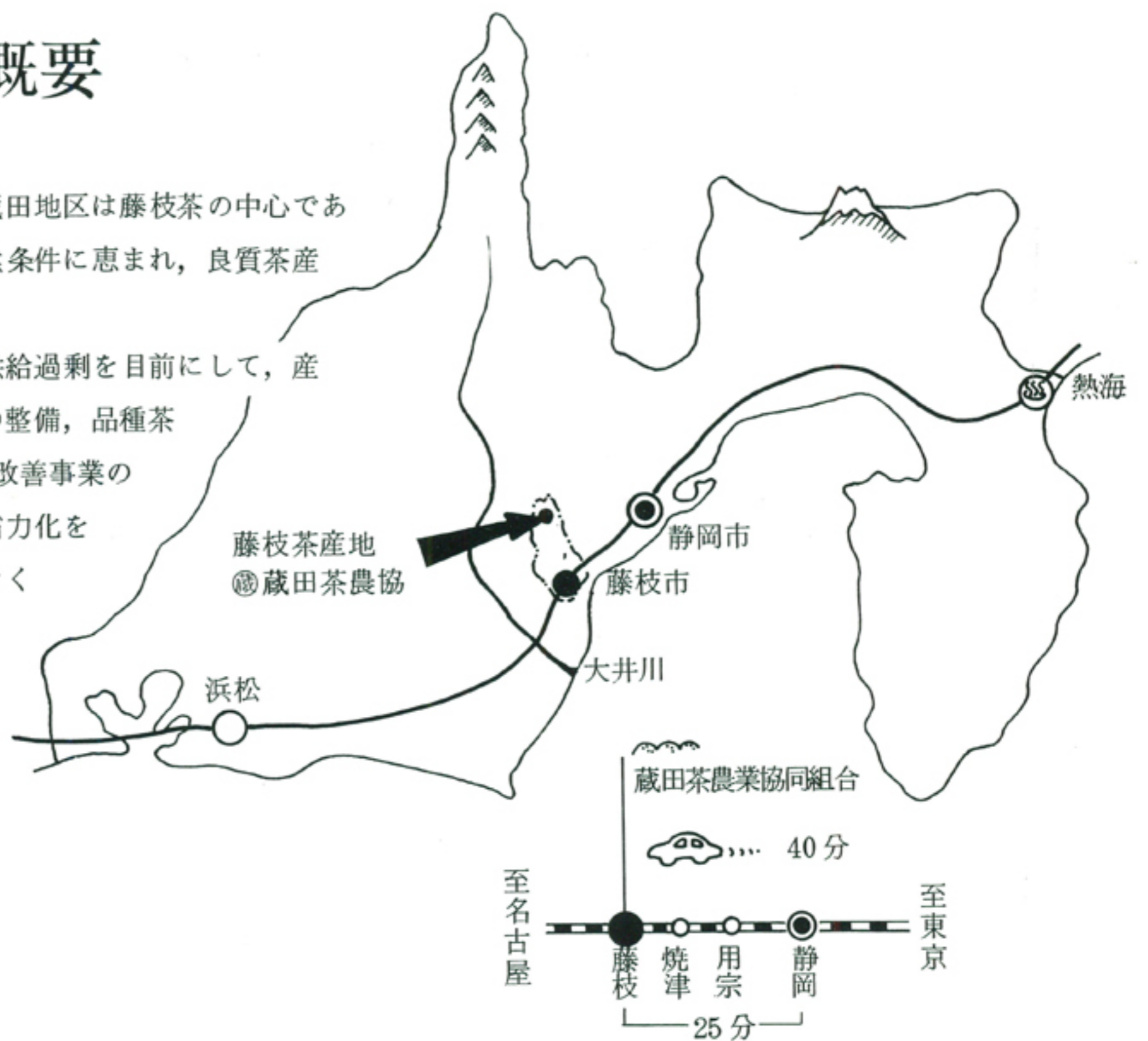
静岡県藤枝市瀬戸ノ谷10,041番地

# 蔵田茶農業協同組合の概要

## 1. はじめに

藤枝市街地より約 20 Km の閑静な山里に位置した 月 光 明 媚 な 蔵 田 地 区 は 藤 枝 茶 の 中 心 で あ る。瀬戸ノ谷地区の元であり、昔から蔵田のお茶と言われ、自然条件に恵まれ、良質茶産地として常に業界から高く評価されている。

近年茶の好況によって全国各地の増産はめざましく、すでに供給過剰を目前にして、産地間競争は一層厳しさを増している。これに対処する為、基盤の整備、品種茶の増産等、優良茶の生産供給をめざして 51 年度第 2 次農業構造改善事業の指定を受けて、超近代的な工場設備を完備して経営の合理化、省力化を果して地区内茶生産農家の経済発展と魅力ある農業の育成に大きく貢献していく事が期待される。



## 2. 概 要

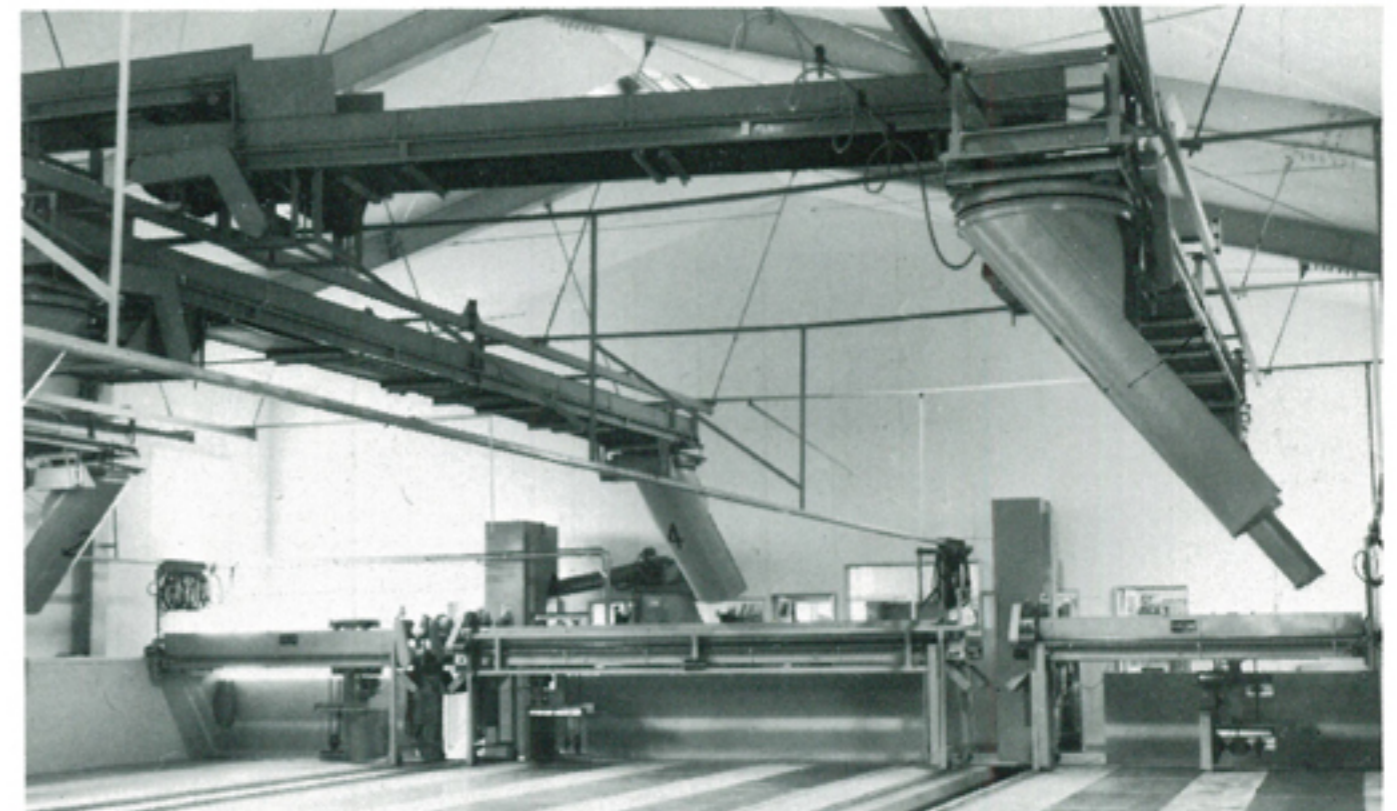
事業名 昭和 51 年度第 2 次構造改善事業緑茶加工施設  
 名称 蔵田茶農業協同組合  
 所在地 藤枝市瀬戸ノ谷 10,041 番地  
 設立 昭和 51 年 7 月 31 日  
 組合員 36 名  
 茶園面積 55 余ヘクタール

## 3. 施 設

- (1) 敷地面積 5,863.03 m<sup>2</sup>
- (2) 建 物 1,677.51 m<sup>2</sup>
  - 生 葉 室 432 m<sup>2</sup>
  - 機 械 室 738.96 m<sup>2</sup>
  - 仕 上 室 149.04 m<sup>2</sup>
  - ガス及びタンク室 57.71 m<sup>2</sup>
  - 車庫及び倉庫 201 m<sup>2</sup>
  - 事 務 室 外 98.7 m<sup>2</sup>



機械室全景(120Kスリーインワンデラックス全自動3ライン)



自動搬入装置を取り入れた生葉室

### (3) 機 械

- ① 生葉自動散布装置 1 式
- ② 生葉管理装置(集葉ロボット 3 台付)生葉収容量 25,000 Kg
- ③ 製茶機械カワサキ 120 K 型 3 ライン (3 in 1.全自動方式)
- ④ 製茶合組機 3,000 K 型 2 台

### 4. 生葉処理能力

- (1) 作 業 人 員 14 名(1 交替 7 名)
- (2) 日産処理能力 28,000 Kg

## 5. 建設事業費

- (1) 総事業費 192,006,100 円
- (補助対象事業費 181,429,000 円)
- 補助金 90,714,000 円
- 近代化資金 72,570,000 円
- 出資金 28,722,100 円

## 6. 施 行

設計管理 清水建築設計事務所  
 焼津市焼津 4 丁目 2 番 19 号  
 施 行 者 住友建設株式会社静岡支店  
 静岡市伝馬町 24 番地の 2  
 機械施行 カワサキ機工株式会社  
 榛原郡金谷町金谷河原 347 番地の 8

### 製茶機械装置一覧表

名 称	数 量	規 格	名 称	数 量	規 格
(1) 生葉管理装置			(4) 仕上工程		
台 秤	1	印 字 型	精 揉 機	8	60 K S
生葉散布装置	1 式		〃	2	120 K
透 気 板	82	モーター他, ファン 900 × 800	自動乾燥機	3	120 K - 2
生葉集葉ロボット	3		電気撰別機	2	2 段式
生葉コンベヤー	2	24 m	自動平行篩分機	2	M - 1 型
(2) 蒸 工 程			自動合組機	2	3,000 K 型
ボ イ ラ	3	250 K	自動茶詰機	2	
給 葉 機	3	S - 1	自動結束機	1	
蒸 機	3	450 Km	附 帯 設 備		
冷 却 機	3	450 Km	重油タンク	2	10 Kℓ
自動制御装置	2	CL1 CL2	重油ポンプ	1	
(3) 中 火 工 程			工場換気装置	5	地上吹上方式
粗 揉 機	6	120 K 3 in 1 HDX 2 台 DX 4 台			
揉 捻 機	3	120 K 自動			
中 揉 機	6	120 K 〃			
精揉機自動分配装置	5	60 K - 2 型 4 台 120 K - 2 型 1 台			
自動制御装置	3	A T C 3 in 1			